

事業所防災リーダー通信 2025 Vol.14

事業所防災リーダーのみなさまへ、防災知識や防災に関するお知らせ等を定期的に発信します。



災害時に備えた“安否確認ルール”を決めておこう



災害時はまず安全を確保し、
最優先に確認すべきは自分・従業員・お客様の「**安否**」です。

災害が発生した後は、パニックになり、情報が混乱する傾向にあります。よって、
災害が発生する前に『いつ・だれに・どうやって』

安否を確認・報告するか決めておきましょう。

さらに、連絡が取れていない人の安否を確認するフローや、外出している従業員との連絡方法も話し合っておきましょう。

安否確認 Q&A

Q1 無事を確認するためには特別なツールや方法が必要でしょうか？

A **いいえ。**
災害の時しか使わないツールは慣れていないため、混乱を招く恐れがあります。
普段から使い慣れているツールを活用しましょう。

Q2 外出している従業員に対しては電話で安否を確認すれば良いですか？

A 災害発生時は電話が使えなくなるなど、普段通りには連絡が出来ない可能性があります。
複数の連絡手段を用意し、柔軟に連絡できるようにしましょう。

Q3 大地震が起きたとき、従業員の無事が確認できたら自宅へ帰して良いですか？

A **いいえ。**
事業所が安全なら事業所で待機、危険なら避難所で待機しましょう。

【従業員を守るためのポイント】

- ・公共交通機関が停止し、帰宅困難者が発生するため無理に帰さない
- ・余震・倒壊物でのケガや救助活動の妨げになる
- ・災害時の対応・安否確認方法を、事前に家族と共有しておく



- 災害用伝言ダイヤル (171)
- 災害用伝言板サービス (web171)

※従業員同士の安否確認にも利用可能ですが、一つの電話番号ごとに登録できるメッセージの数が限られるので注意が必要です。



◀東京事業所
防災実践
マニュアル
はこちら

※出典元「東京事業所防災実践マニュアル」P42～P45 「3.発災時の連絡方法・安否確認方法を確認すべし」より

東京都からのお知らせ

“Coming Soon” 【企業防災アドバイザー支援事業】 応募を近々開始します!!

リーダーのみなさま、防災に関することで、**お困りごとはないでしょうか？** 防災専門アドバイザーによるアドバイスやセミナーで解決のお手伝いをします。詳細は以下をご確認ください。
なお、開始しましたら改めてご連絡します。

https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/kitaku_portal/1000048/1028256/index.html -

